

一般型

「越すに越されぬ大井川」の川越（川留め・川明け）から日本一大茶産地発展 【静岡県島田市】
の軌跡をたどる滞在型体験プログラム造成事業 静岡県島田市

事業費：21,010千円
（補助見込額：12,500千円）

事業概要	江戸時代東海道最大の難所と知られた大井川が「越すに越されぬ大井川」と詠われた歴史や川明け後架橋された「蓬莱橋」や川越人足の働く場の創出を目的に牧之原台地が開墾され、日本一大茶産地へと発展してきた歴史を巡り感じるモニターツアーを造成し、島田市内での観光消費へ繋げていく。
実施体制	実施主体：島田市 連携先：●●●
地域の課題	・これまで富士山静岡空港を利用するインバウンド客は、首都圏や中京圏へ拡散し、富士山静岡空港周辺への誘客につなげていないことが課題である。 ・富士山静岡空港に隣接している島田市の観光資源について、インバウンド客に対しPRや情報発信が不足しているため、観光の目的地として選ばれるためにPRやプロモーションが重要である。
造成するインバウンド向け観光コンテンツの内容	インバウンド客の滞在期間に応じて、ショートとロングで複数の商品を造成する。 ①ショートステイ需要向け（1泊2日想定） 「越すに越されぬ大井川」の川越しと、蓬莱橋架橋をたどるプラン ②ロングステイ需要向け（3泊4程度想定） 「大井川川留めの歴史から日本一大茶産地形成、茶文化成り立ちの軌跡をたどる旅」 各プランには、当地域の成り立ちを時間軸に沿って追体験できるように、大井川川越遺跡（国指定史跡）滞在（博物館本館・分館での体験コンテンツ（蓮台越し体験、着物着付体験、裂織など）、明治33年築・旧桜井邸（登録有形文化財）を活用した滞在型コンテンツ造成（地元食材を使った特別なメニューを楽しむ商品造成）、古民家への宿泊、蓬莱橋の渡橋、茶畑見学・茶工場見学、お茶体験コンテンツ造成（緑茶、和紅茶、和白茶など様々なお茶の楽しみ方を提供するプランの造成を想定）などを組み入れる。
アピールポイント（独自性、地方誘客や観光消費拡大への効果など）	本滞在型体験プログラム造成事業では、●●●が、体験、交通、宿泊等の事業者の相互の連携を図り、この地域にしか無い「なぜ？」を文脈として語れるインバウンド向けガイドを育成し、当地域の成り立ちに関連性の高い観光コンテンツをつなぎあわせた高付加価値商品を造成・流通させる。また、インバウンド誘客については富士山静岡空港の就航先である韓国を中心に、首都圏、中京圏の中間に位置する本市としては、静岡駅を利用する中国、台湾の富裕層をターゲットに絞り誘客を図る。モニターツアー客を対象にアンケート調査を実施することで、観光コンテンツをブラッシュアップすることにより、継続的な誘客へ繋げる。
スケジュール	2023年9月～11月観光コンテンツ造成 11月～2月造成したコンテンツのプロモーション 11月モニターツアーの開催

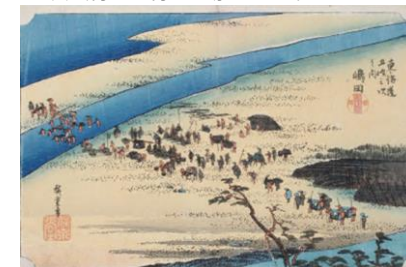
これまでに活用した観光庁事業

看板商品創出事業	
域内連携促進事業	○
誘客多角化事業	

※上記当てはまる場合はボックスに○記入

1次公募での応募の有無

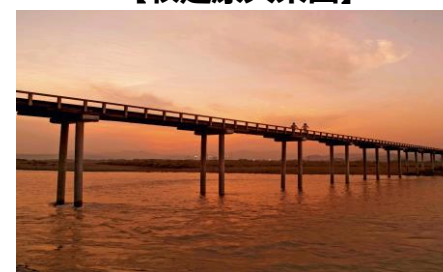
※1次公募に応募した場合は、ボックスに○記入



【東海道五十三次 川越】



【牧之原大茶園】



【蓬莱橋】